

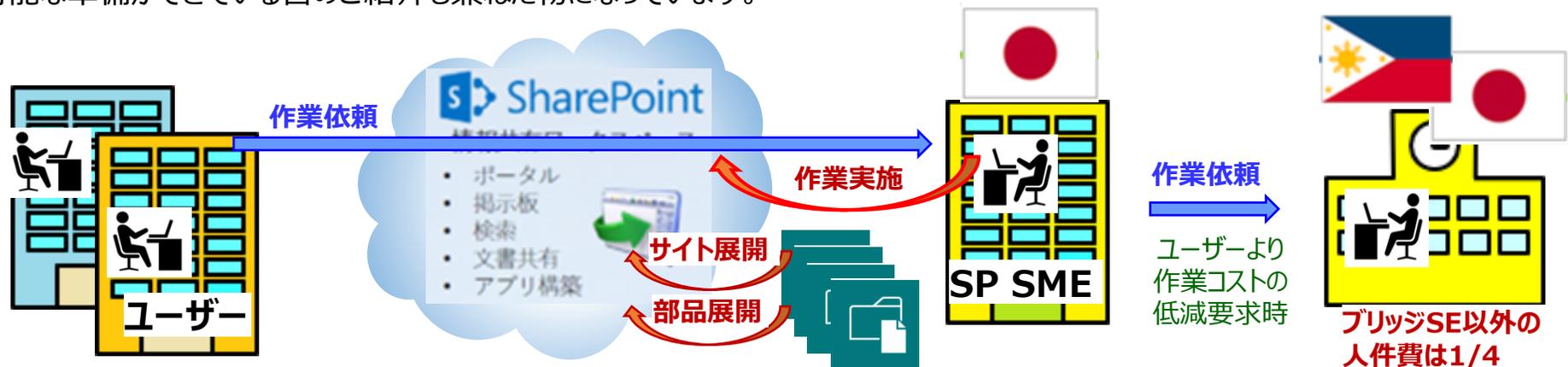
「SharePoint Online」要望がありそうなサイト構築

ここ2年間のコロナ禍で、As is(現在の姿)とTo be(あるべき姿)を比較して、Action(解決手段)を考えると、
・全従業員が事務所に作業(業務)を行う事による感染リスクの回避
・従業員が1人でも感染すれば、周りの方々は接触者という事で、その部署は2週間の自宅待機(実質的な業務停止)
を強いられる事の回避対策としての働き方の見直し、組織内で使うデータはクラウドに移行などの検討が盛んに行われているようです。

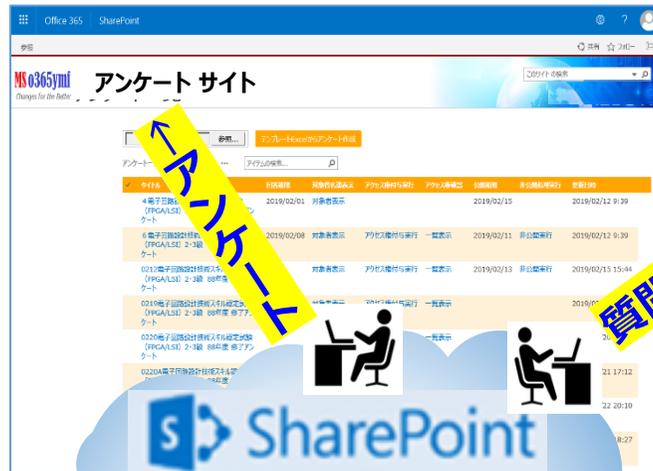
そのクラウドの代表格は、マイクロソフト社の「Microsoft365」ですが、世の中に出回っているマイクロレーションツールを活用すれば、SharePoint Onlineへデータ移行は比較的容易なのかと推測しますが、この後の課題項目の検討は以外と後回しになっているようです。
運用開始時の組織内知見の向上のためのユーザー教育として、**サイト管理者向けと一般ユーザー向け教育、教育完了やイベント開催後などの有益な情報の取得、ユーザー要望がありそうなサイトの構築**として、問合せ窓口などの開設や部門内などでQA対応、要望作業の依頼窓口の開設、フォーラム(電子会議の開設) などです。

この課題の暫定対策として、該当サイトを準備展開し、ユーザー要望に合わせてチューニングして独自版にしていく方法も一つの手段です。
ナレッジ(e-ラーニング)サイトの構築、アンケートサイトの構築、ヘルプデスクサイトの構築、作業依頼サイトの構築は、運用開始時には、必要と思われる機能なので、短期構築で可能な限り費用を掛けない事を前提で、汎用でカスタマイズ可能なテンプレートを活用してサイト展開し、必要なファイルやデータを投入していく作業が必要です。

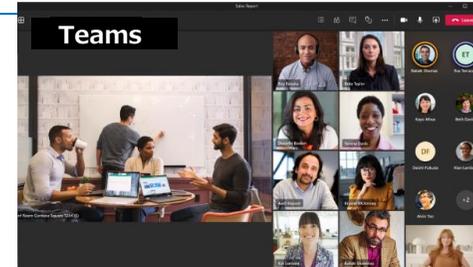
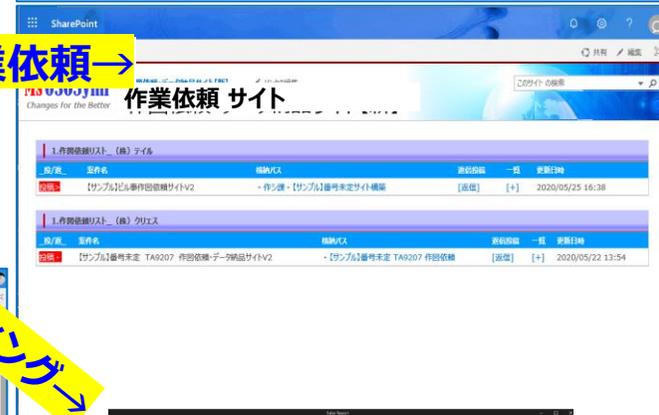
この作業は、既に実績がありテンプレートを所有している **SP SME (SharePoint内容領域専門家)**のいる処へ依頼すれば、不要な仕様検討も省略でき、その結果として短期間で初回の汎用サイトの構築展開は可能です。
SharePoint Onlineを学ぼうっ シリーズは、まさに、この4つの点とカスタマイズに着目して資料を纏めており、上記サイトの要望は短期間で対応可能な準備ができている旨のご紹介も兼ねた物になっています。



「SharePoint Online」要望がありそうなサイト構築



- ・組織内知見向上のためのユーザー教育
 - ⇒サイト管理者向け、一般ユーザー向け教育
 - ⇒教育完了やイベント開催後など有益な情報の取得
- ・ユーザー要望がありそうなサイトの構築
 - ⇒問合せ窓口などの開設、部門内などでQA対応
 - ⇒要望作業の依頼窓口の開設
 - ⇒フォーラム(電子会議)



←アンケート

質問・問合せ

←e-ラーニング

作業依頼

←カスタマイズ

←ミーティング